



いいこっつお

教育長のつぶやき

No.45

2025. 6/6

子ども先生も成長した運動会！②

①からの続きです。

修学旅行の服装も子供達も考えて、全体行動は制服だが、自由行動は私服で参加し、お金をかけすぎることなかった／すでに学校のルール改革は子供達が考えて変化してきている。それが子供達の自信にもつながっている／必要に迫られて子供達が自主に話し合いを進めてきた／中学の授業では、技術や美術時の服装を自分たちで最適なものを考えている／小中の運動会でだいぶ考え方が変わってきた／小学生は縦割りのグループで各グループごとに話し合い時に意見を出し合ってきた／去年までの積み重ねが今年に響いている／異年齢の縦割りグループが機能している／初めての運動会の形で、子どもたちがここまでできるんだと知った／準備運動はラジオ体操ですと指導してきた学校文化だったが、子供達が楽しめばいいじゃんと思えるようになった／子どもたちが揃えることが綺麗と思う種目は揃えていた。でも楽しければいい種目は楽しくとかそれは子供達が考えていた／軍隊式の体操を今までやってきたと思えた／運動会は怪我するリスクもあるだろうが、種目ごとに実行委員が担当の先生に相談する姿も見られた／先生方も臨機応変に運動会を楽しんでいた／種目は子供達が提案して、先生方もアドバイスして一緒に作り上げているという良さがあつた／実行委員長は中学生だが、小学生も小学生種目を中心に進められた／パン食い競争も初めて見た。担当の職員と衛生面やアレルギー対応、衛生面も考えていた／今までの運動会は決まっていたので色々案をしていたんだと思えた／子供達はやりたいことができ、それを応援する先生方や保護者や地域の姿もあつた／運動会で不登校傾向だった子どもも学校に来やすくなった運動会だった。学校のハードルが低くなり、上級生も声をかけてくれたことも助かった／枠が決まっていることがいいという子も中にはいた／今後も一つ一つ子供や保護者の声を聞きながらバージョンアップしていきたい／昨日運動会の話し合いをしたが、昼前に終わったほうがいいという小1の声もあつた。小1からも発言があつたのはすごい／中学生は達成感があり、小学生とやった楽しさがある／子供に任せる運動会だった。今までは文化祭など子供は教員の指示のもと動いていたが、先生に相談せずに自分たちが考えて動く姿も見られ嬉しかった／今までのように「早く」とかいうと、子供たちの芽をつんでしまっていたのだとを感じる／校長2人で運動会の時間が延びてどうしようと相談していたが、子供達にとにかく任せた／子供の中にも時間が伸びたことは悔しいと日記に書いていた／先生方の待つ辛抱強さも見られた／先生方も練習から指示を出さなかった姿が変わった／時間が延び、雨が降り出し大丈夫かなどドキドキしていた／中学の教員も子供の成長をものすごく喜んでいて／



一昨日は、小学生だけ集まり、全員で運動会の感想を述べ合ったそうですし、昨日は小中合同の話し合いの時間をとっていただいたようです。こうした小学生だけの反省の時間と小中合同の反省の時間を面倒でも別々にとっていただいているところに学校として何をこれから大切にしていこうとしているかの心意気を感じます。「分ける」と「合わせる」は動きとして全く別ですが、それぞれの良さが引き出せる時間でもあり、最終的に言葉は違えど

も、きっと異学年でも同じことを考え、思いは同じではないか、ということも時には見えてくるのではないのでしょうか。まだ小さいのにそんなことを感じていたのか、とか思っていたのかと上位学年の子どもたちが感じれば、これは異学年合同の学びが常に下学年の子どもたちだけにメリットがあるわけではなく、上位学年にも影響を及ぼすことが明らかになるでしょう。試行錯誤はまだまだ様々な形であるでしょうが、それでも最良の形を求め、先生方も子どもたちと共に歩んでくださっている様子を嬉しく思います。